

市議会だより

編集 議会だより編集委員会
発行 豊明市議会事務局(0562-92-1121)



友好自治体
議員合同研修会

9月29日(火)・30日(水)に豊根村との友好自治体議員合同研修会を開催し、意見交換会や市内の施設見学を実施しました。

平成27年 9月定例月議会

………… あんない ……………

決まった主なことから	P 2
議案等の審議結果	P 4～P 5
討論(議案等に対する意見)	P 6～P 8
議員合同研修会	P 9
議会報告会開催のご案内	P 10

平成26年度会計別歳入歳出決算状況

1 各会計決算総括表

単位(千円,%)

会計名	歳入		歳出		差引残額	
	収入済額	予算比率	支出済額	予算比率		
一般会計	21,128,611	100.2	19,795,360	93.9	1,333,251	
特別会計	国民健康保険	7,216,747	99.7	6,917,049	95.6	299,698
	下水道事業	1,260,132	101.3	1,226,328	98.5	33,804
	土地取得	63,881	99.6	63,881	99.6	0
	墓園事業	33,104	140.3	18,225	77.2	14,879
	農村集落家庭排水施設	74,310	101.9	69,366	95.2	4,944
	有料駐車場事業	56,915	96.3	55,179	93.4	1,736
	介護保険	4,004,040	98.6	3,749,613	92.3	254,427
	後期高齢者医療	787,379	98.8	785,078	98.5	2,301
	小計	13,496,508	99.5	12,884,719	95.0	611,789
	合計	34,625,120	99.9	32,680,080	94.3	1,945,040

※数値については、決算書において端数処理された「実質収支に関する調査」から転記したものです。
※詳しくは財政課へお問い合わせください。

2 一般会計決算収支状況の推移

単位(千円,%)

区分	平成24年度		平成25年度		平成26年度	
	金額	前年比	金額	前年比	金額	前年比
歳入決算額	19,293,567	0.7	19,991,990	3.6	21,128,611	5.7
歳出決算額	17,903,679	△0.5	18,435,633	3.0	19,795,360	7.4
歳入歳出差引残額	1,389,888	18.1	1,556,357	12.0	1,333,251	△14.3

決まった主なこと

9月定例会月議会は、平成27年8月26日から9月25日までの31日間にわたり開催し、平成26年度の各会計決算の認定議案9件、議案11件、陳情6件のほか、意見書案4件などを審議しました。

人事案件

◎教育委員会の委員の任命
任期満了(9月30日)に伴い、次の方の再任に同意しました。

(敬称略)

青山佳代

(任期は4年)

緒方誠子

(任期は3年)

◎人権擁護委員候補者の推薦
任期満了(12月31日)に伴い、次の方を再び推薦することに決定しました。

人権擁護委員候補者の推薦

都築和男委員の任期満了(12月31日)に伴い、後

任に次の方を推薦することに決定しました。

青木廣康

(任期は3年)

陳情

◎定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情

平成27年9月25日

採択

◎請願及び陳情者の意見陳述を公式に行うことを求める陳情

平成27年9月25日

採択

◎議会報告会に於いて市民との意見交換の充実を求める

陳情

平成27年9月25日

趣旨採択

◎私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情

平成27年9月25日

採択

◎愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情

平成27年9月25日

採択

◎国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情

平成27年9月25日

採択

議会改革推進協議会 平成27年6月～9月 までの活動の報告

市民に信頼され開かれた議会、また、議会と首長が対等の関係を持つ二元代表制のもとで議会が効果的に機能するために全議員で議会の改革に取り組んでいます。

1. 決算特別委員会の編成について
決算審査を充実させました。執行機関の予算の執行状況を監視し、翌年度以降の予算案の審査の参考となる情報を得ることができました。
従来は定数10名以内を定数20名以内(議長・監査委員を除く全議員)としました。
2. 委員会の一般傍聴人数について
従来は6名以内を15名以内としました。それ以上の傍聴希望があるときは委員会に諮って許可します。
3. 委員間討議について
委員会においては委員(議員)から理事者側への質疑だけであったものを、委員間で意見交換をすることができるようになりました。論点を整理し、30分以内で討議をします。
4. 政務活動費について
年間1人の議員への15万円の政務活動費支給については市民が深い関心を寄せる事項であり、特に使途の透明性や基準について、政務活動費の条例、規則及び申し合わせ事項の案を作成するために分科会を設置して進めています。
5. 政務活動費収支報告書等は公開する。
・会派行政視察報告書は各議員が提出し、公開する。
・政務活動費の支給を会派から個人支給に変更する。
等々が決定しました。
6. 反問権について
本会議または委員会において議員の質問に対し答弁をする者は、論点を明確化し議論を深める目的で反問することができることとし、回数制限をしないと決めました。
7. 一般質問実施日の休日開催について
3月定例会月議会における一般質問は平成28年2月28日の日曜日に実施予定です。休日の議会開催により多くの方の傍聴を期待します。
8. まだまだ多くの課題があります。改革課題の解決に向け全議員で取り組んでいきます。

決算特別委員会 認定議案の全て を認定

平成26年度豊門市一般会計及び特別会計歳入・歳出決算認定について、全議員(議長と監査委員を除く)で構成する決算特別委員会を設置。9月7、8日の2日間にわたり審査をし、全ての認定議案を認定しました。

〈主な答弁より〉

◎消費税率上昇による地方消費税交付金は前年度比約24%増の約1億5300万円だが、委託や物品購入などによる支払い影響額は約1億3000万円となり、増税による大きな影響はなかった。
◎競馬の環境整備寄附金は年々減少。インターネットや電話投票分は売り上げに加算されていない。
◎公用車車検整備を一括委託にしたことで、修繕料は1割程度減額。しかし、職員の交通事故が多くなる通常の倍ほどの修繕となった。

◎児童家庭相談室で児童虐待(疑わしい)が1533件で、

◎国民健康保険特別会計では、国保税軽減対象者は前年度比1256人ふえ、影響は約1870万円増額(うち市費は600万円ほど)。
◎介護保険料の滞納者件数は870件で不能欠損額は約500万円(時効は2年間)。特別養護老人ホーム入所待ち者は90人でそのうち重度の方は38人。

議案等の審議結果

提出された議案等の議決状況

○：賛成 ×：反対 趣：趣旨採択

議案等番号	議案等名	新風とよあけ					ひまわり					公明党市議団	市政改革の会	緑の風						
		清水義昭	富永秀一	後藤学	宮本英彦	ふじえ真理子	近藤善人	杉浦光男	鶴飼貞雄	毛受明宏	近藤郁子	三浦桂司	月岡修一	近藤千鶴	一色美智子	早川直彦	山盛さちえ	近藤裕英	蟹井智行	郷右近修
陳情10	議会報告会に於いて市民との意見交換の充実を求める陳情	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	趣	×	×	趣	趣	趣	趣
陳情11	私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情12	愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情13	国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議	○	○	○	○	○	○	○	○

※陳情9は採択について採決した結果であり、×の議員は趣旨採択又は不採択の意思表示はしていません。
 ※陳情10は趣旨採択について採決した結果であり、×の議員は採択または不採択の意思表示はしていません。

意見書(一部省略)

今定例月議会最終日の9月25日に意見書案4件について審議し、すべて可決しました。

◎年金積立金の適正運用ならびに年金情報流出の全容解明と再発防止を求める意見書

我が国では、高齢者世帯の収入の約7割を公的年金が占めており、また、約6割の高齢者世帯が年金収入だけで生活しているなど、年金は老後の生活保障の柱となっている。年金積立金の運用は、現役世代の保険料負担を維持しつつ、将来の年金給付に支障が生じないよう、長期的な健全性を確保していかなければならない。

日本年金機構は不正アクセスによって年金受給者の個人情報や年金積立金の適正運用の確保ならびに情報セキュリティ対策の充実・強化を図るため、下記事項について特段の措置を講ずるよう求める。

1 年金積立金の運用は、厚生年金保険法および国民年金法の規定に基づき、専ら被保険者の利益のために長期的な観点から安全かつ確実な運用を行うこと

2 年金積立金の運用が適切に行われるよう、GPIFにおいて、保険料拠出者である労使代表が参画し、意思反映できるガバナンス体制の強化を図ること

3 年金情報流出問題の全容を解明し、被害を拡大しない対策を強化するとともに実効性ある再発防止策を確立すること

意見書提出先
内閣総理大臣他1大臣

◎愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書

当市議会は県に対し、父母負担軽減に大きな役割を果たしている授業料助成を拡充するとともに、経常費助成についても国から財源措置のある「国基準単価」を土台に、学費と教育条件の「公私格差」を着実に是正できる施策を実施することを要望する。

意見書提出先
愛知県知事

◎国の私学助成の増額と拡充に関する意見書

当市議会は国に対し、国の責務と私学の重要性に鑑み、父母負担の公私格差を是正するための就学支援金を、一層拡充するとともに、併せて、私立学校振興助成法に基づく国庫補助制度を堅持し、私立高校以下の国庫補助金と、それに伴う地方交付税交付金を充実し、私立高等学校以下の経常費補助の一層の拡充を図られるよう強く要望する。

意見書提出先
内閣総理大臣他3大臣

提出された議案等の議決状況

○：賛成 ×：反対 趣：趣旨採択

議案等番号	議案等名	新風とよあけ					ひまわり					公明党市議団	市政改革の会	緑の風							
		清水義昭	富永秀一	後藤学	宮本英彦	ふじえ真理子	近藤善人	杉浦光男	鶴飼貞雄	毛受明宏	近藤郁子	三浦桂司	月岡修一	近藤千鶴	一色美智子	早川直彦	山盛さちえ	近藤裕英	蟹井智行	郷右近修	村山金敏
報告10	健全化判断比率の報告	報告のみ																			
報告11	専決処分事項の報告(損害賠償の額の専決処分)	報告のみ																			
報告12	専決処分事項の報告(損害賠償の額の専決処分)	報告のみ																			
報告13	専決処分事項の報告(損害賠償の額の専決処分)	報告のみ																			
認定議案1	平成26年度豊明市一般会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定議案2	平成26年度豊明市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定議案3	平成26年度豊明市下水道事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定議案4	平成26年度豊明市土地取得特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定議案5	平成26年度豊明市墓園事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定議案6	平成26年度豊明市農村集落家庭排水施設特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定議案7	平成26年度豊明市有料駐車場事業特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定議案8	平成26年度豊明市介護保険特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
認定議案9	平成26年度豊明市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案46	教育委員会の委員の任命	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案47	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案48	人権擁護委員候補者の推薦	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案49	工事請負契約の変更(庁舎耐震補強等工事)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案50	豊明市放課後児童健全育成事業の実施に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案51	豊明市個人情報保護条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案52	豊明市職員の再任用に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案53	豊明市手数料徴収条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案54	愛日地方教育事務協議会規約の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案55	平成27年度豊明市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案56	平成27年度豊明市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案3	年金積立金の適正運用ならびに年金情報流出の全容解明と再発防止を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案4	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案5	愛知県の私学助成の増額と拡充に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
意見書案6	国の私学助成の増額と拡充に関する意見書	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情8	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
陳情9	請願及び陳情者の意見陳述を公式に行うことを求める陳情	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○



議案等に対する

討 論

(議会の最終日に各会派等の意見を代表して賛成・反対討論を行いました。)

◆新風とよあけ◆ 平成26年度一般会計・特別会計 歳入歳出決算認定について賛成

使用目的を明示していない財政調整基金は通常、標準財政規模の7%くらいが適正(本市では9億円ほどが妥当)ですが、現時点で29億円あり、市民サービスにどう生かしていくのかが今後の課題。実質収支比率は8・9%。5%を超えるような状況は、剰余金が多額に発生したことで、収入が当初より相当上回ったか、不用額が多額に生じた状況で、適切な財政運用ではなかったと言える。

市民サービスでは、利用者が少ない割に十分な対策が取られていない事業が見られた。例えばいきいきサービスでは男性の利用者がふえるようなプログラムの見直しが必要。毎年、扶助費が3億円以上増加している。健康寿命を延ばし、要介護にならないような予防事業の拡大が必要である。

生ごみ収集について4800世帯312トンは、1世帯あたり65キログラムになる。協力率を上げる等、収集量をふやす努力が必要。歳出に占める教育費の割合は年々下がり10%ほどになっている(近隣市は15%前後)。本市の小学生の体力・学力は全国的にも低く、中学では不登校生徒も多い。教育環境の充実と喫緊の課題であり、教育費の増額が求められる。

長期継続契約の複写機・印刷機等はリースと購入の比較検討をお願いする。主要工事の中で、落札金額と決算額で1割以上増加したものがあつた。その理由がわかるように。市民の皆様からの税金である。1円の無駄もなく、予算執行されることを要望し、賛成。

◆ひまわり◆ 平成26年度決算に賛成する

豊明阿野終末処理場の解体は、たび重なる放火や、心霊スポットの風評被害が絶えない廃墟施設だったため、市民も大変喜んでいて、中央小学校の校舎増築建設は、プレハブ校舎リース延長ではなく、新校舎を建築したのは評価したい。

ふるさと応援寄附金は、豊明市への寄附金は9万円に対し、他市への寄附金は500万円で、インターネットサイトに「ふるさとチョイス」に期待がかかる。

第5次総合計画、公共施設マネジメント計画は、成長時代の幻想を追いかけず、集中と選択の目標値を定め、緩やかな成長と、多過ぎる施設の統廃合を行う難しいかじ取りだが、方針を定めて進めてほしい。指定管理者制度は、金額削減ありきで、働く人たちの人件費削減から成り立

ないよう注視してほしい。

特別会計は、適正に処理されているが、毎年ふえ続ける介護保険、国民健康保険の伸びを、どのように抑えるかが大きな課題である。円安、株高、原油安で景気回復の兆しが見えた年だったが、中小零細企業を占める当市まで及んでいない。

歳入歳出の拡大要因は、国からの臨時福祉給付金、耐震工事、文化会館空調設備改修工事のためで、公債費比率が4・5%から2・5%・1ポイント下がり2・5%になったのは、税収大幅アップではなく、基金を繰り入れた数字的效果であり、好ましいとはいえない。外的不安要因もあるが、老朽化に伴う耐震改修や、桜ヶ丘沓掛線の早期開通を要望して賛成とする。

◆公明党市議団◆ 平成26年度一般会計及び特別会計 決算に賛成する

一般会計、特別会計の合計の歳入は、346億2510万円余、歳出は、326億8007万円余、差し引き残高19億4505万円余。

翌年度に繰り越すべき財源2億1153万円余を差し引いた実質収支額は、17億3350万円余、全ての会計で黒字となっており当局の努力がうかがえます。

一般会計決算においては、厳しい環境のもと11億2171万円余の実質収支を確保いたしました。歳入の根幹をなす市税収入が、前年度に比べ2%増となりました。歳出は行財政運営の簡素・効率化に努められ市民生活の向上に欠かすことのできない事業を優先されたと理解いたします。

特別会計については、今後も健全な経営に努めていただきたいと思います。

一般会計と特別会計を合わせた全会計の歳入及び歳出はともに前年を上回っており、大きな額となっております。

これらの事業はすべて市民サービス・市民の福祉の向上を図るものであったと理解しております。

財政厳しい中での苦しい決算であったと思われるが、赤字になるものはなく適正と判断いたします。

少子高齢・人口減少を背景に厳しい財政状況は続いていく状況であります。今後、施設の老朽化、維持管理費用の増加、扶助費の増大などが予測されます。新年度予算編成においては、本決算状況を検証され進めていただくことを要望して賛成といたします。

◆市政改革の会◆ 放課後児童健全育成条例に賛成 児童クラブ利用料は低所得層に配慮

子どもの貧困率が過去最悪となり、国は大綱に子どもの居場所づくりをあげた。放課後児童クラブはその受け皿として重要度を増したと言える。

本市の子育て支援アンケートで一番要望が多かったのが経済的支援で、物価上昇により実質賃金は下がり、若い世帯の生活は厳しい状況にあると言える。

こうした中で、放課後児童クラブ利用料の無料対象者を年収約840万円未満から生活保護と非課税世帯に引き下げた(無料の方は535人から54人に減る)ことの影響は大きいと見る。

利用料が工面できず、子どもひとりでの親の帰宅を待たせることになりはしないか、心配は膨らむ。全員無料にせよ、とは言わない。低所得層への配慮不足を言っている。市は、

給食費や学用品費など学校の学習に必要な費用が援助されている就学援助児童の一部が、有料になることを見落としていた。

福祉文教委員会で指摘を受け、市長は規則に就学援助の全額減免を明記すると答弁した。歩み寄り評価するが、最低限の是正に過ぎない。

今後、低所得層や共働き世帯の実状に合わせた利用料、子育てしやすい制度に改善するよう3点の改善を求める。①所得割額4万8600円未満(保育料C階層)は非課税世帯の次に生活困窮している階層なので減免対象とすること。②2人目を半額に、3人目を無料とすること。③厳しすぎる就学援助認定基準を見直すこと。

・・・12月定例月議会の開催日程(予定)・・・

11月27日(金)	本会議(議案上程・提案説明)	12月8日(火)	本会議(議案質疑・委員会付託)
12月1日(火)	本会議(一般質問)	12月9日(水)	総務委員会
12月2日(水)	本会議(一般質問)	12月10日(木)	福祉文教委員会
12月3日(木)	本会議(一般質問)	12月11日(金)	建設消防委員会
12月4日(金)	本会議(一般質問)	12月22日(火)	本会議(委員長報告・討論・採決)

※本会議・委員会とも午前10時より開かれます。上記は予定のため、変更される場合がありますので、ご了承ください。

※なお、庁舎の耐震工事に伴い、12月定例月議会も議場が第1委員会室となります。

お越しの際は東館のエレベーターをお使いください。

詳しくは、議会事務局へお問い合わせください。

電話 0562-92-1121

議会報告会 2015 開催のご案内

今年も、議会報告会を開催させていただきます。

どのような議会報告会がいいのか、試行錯誤しながらの3回目ですが、報告はわかりやすく、ご意見はできるだけ伺えるよう、構成してまいります。たくさんの市民の皆様にご来場いただきますようお願いいたします。

日時：平成27年11月14日(土) 19:00～
受付開始18:30～

会場：豊明市文化会館 ギャラリー

第1部

①各委員会報告

議会に提出された議案内容と審議内容・結果等をご報告いたします。

②議会改革推進協議会報告

議会がどうあるべきか、全議員で協議していることをご報告いたします。

第2部

「ご意見を伺います！」

できるだけ多くの声を伺いたいと思います。

いくつかのグループに分かれて行います。皆さんの声をお聞かせください。